

世界最強の薬はないの？

SDGsラジオを聴いてみよう！

すべての病気やケガを治す薬はないの？最強の薬があったら…そう思ったことがある人はいませんか？

薬は、風邪薬や痛み止め、目薬など、それぞれで違った効果を持っていることから、

ひとつの薬で、すべての病気やケガを治すことはできません。

また、薬は間違った使い方をすると、身体に悪い影響を与えてしまうことだってあるんです。

だからこそ、正しい薬を正しい方法で使うことが大切。

そして、そんな薬を調剤してもらえたり、飲み方や効果を教えてもらえる場所が「薬局」です。

「日本調剤」でも、全国のあらゆる人々に薬を届けていくために、日本中のさまざまな場所で薬局を運営しているんですよ。

薬のことで困ったり、薬を飲んで身体に違和感があったりしたらすぐに薬局の薬剤師に相談してくださいね。

では次に、薬のプロフェッショナル、薬剤師とはどんな職業なのか、調べてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：いろいろな薬のイメージ画像

風邪薬や痛み止め、目薬など、私たちの周りにはいろいろな薬があります。そして、その一つひとつの薬に違ったはたらきがあります。だから、ひとつの薬だけですべての病気やケガを治すことはできません。また、薬によっては、アレルギー反応や副作用が出てしまうことがあります。毎日元気に過ごしていくためにも、使う薬や使い方は自分だけで決めず、お医者さんや薬剤師に相談することが大切です。



画像参照：全国にある日本調剤の薬局(日本調剤公式HPより)

そして、薬のプロ「薬剤師」から薬をもらって、飲み方やどんな効果があるかを教えてもらえる場所が「薬局」です。「日本調剤」という会社は、日本全国で700以上の薬局を運営しています。そこでは3,000名以上の薬剤師が働いていて、患者さんに正しい薬を届け、どうやって飲むのかをきちんと伝えていきます。ちなみに日本調剤グループでつくられている薬は、地球温暖化を防ぐために、二酸化炭素排出量や電力使用量の少ない、環境にやさしい工場で作られていて、地球のこれからについてもしっかりと考えられています。

私たちが元気で楽しく過ごすために、薬はとても大切です。そして、その薬を扱う薬局も必要です。薬とはどんなものか、薬剤師がどんな仕事をしているか、もっと調べてみましょう。

キーワード

アレルギー反応・副作用

「アレルギー反応」とは、花粉や食べ物などの特定の物質(アレルゲン)に対して身体が過剰に反応し、かゆみやくしゃみなどの症状が起こることです。「副作用」とは、薬を飲んだ時に、つらい症状を抑えるという効果のほかに生じてしまう望ましくない作用のことです。例えば、花粉症の薬を飲んで、鼻水は止まったけど眠くなったりすることがあります。

薬剤師

薬剤師とは、薬の専門知識をもとに、病院や薬局で薬を取り扱い、患者さんに飲み方の説明などをする国家資格を持った人です。

地球温暖化

地球温暖化とは二酸化炭素などのガスが増えて、地球の気温が上がることです。

対象ゴール



みなさんにできること！

「薬を正しい方法で飲む大切さ」を周りの人に伝えていきましょう。

おさらい

- 薬にはそれぞれ違ったはたらきがあるので、ひとつの薬ですべての病気やケガを治すことはできない。
- 日本調剤の薬局では全国で、3000名以上の薬剤師が働いている。
- 私たちが元気で楽しく生活するためには、薬も、その薬を支えている薬局もとても大切。

メモ

